

第50号

2026年1月吉日発行

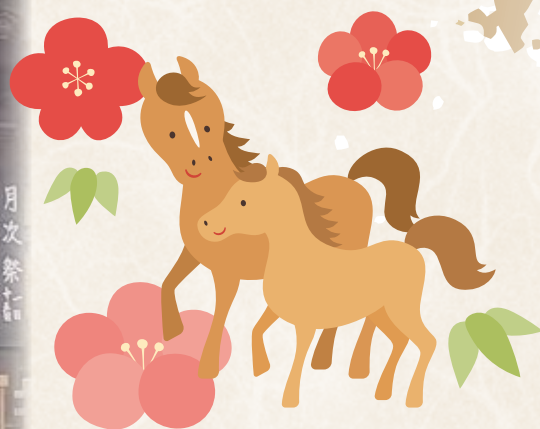
埼玉県看護連盟

# 連盟だより・さいたま

S A I T A M A



調神社



## Contents

ごあいさつ	2	
ごあいさつ／衆議院議員	あべ 俊子	
参議院議員	石田 まさひろ 友納 りお	
越谷市議会議員	横井 聖美	3
支部活動報告	4～6	
埼玉県議への要望書	6	
研修報告	7	
連盟からのお知らせ	8	



看護の心を、  
みんなの心に

<https://www.kango-saitama.jp/>





# ごあいさつ

埼玉県看護連盟 会長 おお た 多田 則子



あけましておめでとうございます。

2026 年を穏やかに迎えられていると思います。

昨年は、地震や豪雨、林野火災、大雪などによる災害が各地で発生し、今なお、苦勞されている方も多く、人々がお互いを思いやり、支援のために地道に活動に取り組んでいる人も多いことと思います。

医療界では経営状況も厳しい現実から、医療介護職の多くの団体が参加を得て緊急集会を昨年 12 月末に開催しました。参議院 3 期目当選の石田まさひろ議員を筆頭に医療職・介護職約 700 万人の従事者の処遇への不安を取り除くために、赤ハチマキをして医療職議員と共に声を上げて政府に働きかけをしました。医療・介護について、過去にない補正予算も組まれました。そして、診療報酬改定に向けてはプラスの改定となり少しでも働く職員への物価高騰に応じた報酬となるような予算となりそうですがいかに、

急速な AI の普及、気候の変動、高まる地政学リスク「先がよめない」と言われるこの時代に、私たちが信じられるもの、それは「人」。前例のない挑戦が、人によって突破口を開き、その力が継となる成長の起点となる。成長の原動力にはいつも会員一人ひとりの中にあり、目指す看護が存分に提供でき満足のいく看護提供ができる環境が担保できるように、埼玉県看護連盟は「現場の声」をしっかりと受け止め改善に努めます。

新しい年が、駿馬のごとくすべてにおいて躍進し、希望を持って歩んでいくことのできる良い年となることを祈ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

日本看護連盟 会長 高原 静子



埼玉県看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。

平素より、日本看護連盟活動にご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

輝かしい丙午（ひのうま）の年を迎え、皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

2026 年の干支である午（うま）は、前へ前へと力強く駆け抜ける躍動感と、旺盛な生命力、そして人々を支え、希望を運ぶ繁栄と成功の象徴です。この「丙午」の年が示す通り、これまでの努力を礎として、看護の力をさらに社会へ広げ、飛躍的な発展を遂げる好機ととらえるべきでしょう。

現在、医療・介護・福祉の現場は、人口構造の変化、医療の高度化・複雑化、そして働き方改革など、大きな変革の波にさらされ、依然として多くの課題に直面しております。この「丙午」が持つ情熱と行動力のエネルギーにあやかり、より良い看護の実現と、看護職が希望を持って働き続けられる環境整備に向けて、力強く歩みを進めてまいりましょう。

本年が会員の皆様にとって、情熱と挑戦が実を結び、看護の未来を切り開く飛躍の年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

今年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

埼玉県看護協会 会長 澤登 智子



謹んで新春のお喜びを申し上げます。

本年も皆様のご活躍とご多幸をお祈りいたします。

さて、私たちを取り巻く環境は、地球温暖化に伴う気候変動、山火事の多発、国内では大震災の可能性など、自己の力では防ぐことが難しい日常生活上の危機を実感し、常に頭の片隅に置いておくことが必要になりました。

今年は60年に一度の丙午の年で、昔は不吉な年とされた時期もありましたが、現代では情熱や行動力を象徴する干支として前向きに語られています。看護を取り巻く環境が、丙午にあやかり前向きな一年となりますよう祈念したく存じます。

近年、我が国は超少子高齢化、人口減少時代となり、2040 年に向けて医療・介護ニーズの増大が考えられ社会保障制度改革が進められております。この流れの中で、看護の価値はより高まる可能性があります。一方、看護職確保は今後さらに困難になることが推測されております。そのため将来の看護の役割発揮の在り方は、少ない人数で質の高い看護を提供することであり、看護 DX の導入は加速されていきます。同時に、看護職のマネジメント力をより高める必要があります。

これら社会の求めに応え看護を発展させるためには、看護基礎教育の充実強化と切れ目のない一貫した人材育成体制が必要になります。また、働く看護職自身がウェルビーイングな状態にあることも重要で、そのための取り組みも必要です。

日本看護協会は、令和 7 年 6 月の通常総会にて「看護の将来ビジョン〜いのち・暮らし・尊厳をまより支える看護〜」を公表しました。新ビジョンの目指すところは「その人らしさを尊重する生涯を通じた支援」「専門職としての自律した判断と実践」「キーパーソンとしての多職種との協働」を掲げています。看護協会は新ビジョンに向けて事業展開をスタートさせました。

これからの時代に合わせた看護職の多様な働き方を実現し、処遇改善をすすめるなど、看護政策を一步ずつ前進させるには、看護協会と看護連盟の両方で力を合わせて推進することが重要です。どちらかの組織が活動すれば実現できるというものではありません。個人の力だけではできないことを組織の力で実現するために、私たちは主体的に活動を推進してまいりましょう。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



衆議院議員 あべ 俊子



新年あけましておめでとうございます。今年も新しい年を迎えることができたこと、大変喜ばしく思います。旧年中の多大なるご支援に心より感謝申し上げます。

あべは昨年 10 月に文部科学大臣を退任致しました。文部科学大臣在任中は、「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、過疎地における学校の存続問題、看護教育のあり方、地域に残る人材育成などに取り組むことができました。これも常日頃、みなさまからのご支援とご指導をいただいたお陰です。

看護職の皆様が直面されている課題は多岐にわたり、その中で培われた経験と知識は、まさに地域社会にとって不可欠な財産であると深く認識しております。

本年も、看護職の皆様が安心して働き続けられる環境づくり、そして専門職としてのさらなる資質向上を支援するため、看護連盟の皆様と連携を密にしながら、より一層努めてまいります。皆様の活動がより円滑に進み、地域医療の発展に繋がるよう、微力ながら尽力してまいります。

皆様にとって、本年が実り多く、健やかな一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

参議院議員 石田 まさひろ



埼玉県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。日々、患者さんに寄り添い、支え続けてくださる皆様に、心から感謝と敬意を申し上げます。

国会では、参議院自民党・国会対策副委員長、厚生労働委員会理事、予算委員会委員等を務めています。特に国会対策委員会は小さなミスで国会が止まりかねない緊張感の高い役割です。気を引き締めて、円滑な国会運営を支えてまいります。

本年は診療報酬改定が予定されています。物価高や人件費上昇に対応できるよう、診療報酬本体は 2000 年代以降、最も高い改定率となる大幅プラス改定になりますが、これに加えて、記録類や手続きの簡素化を重点に据えて活動しています。これは、看護師が本来のケアに集中でき、皆様の思いに報いる環境を整えるために欠かせない取り組みでもあります。

看護の未来を切り拓くため、皆様が誇りを持って「今日も良い看護ができた」と実感できる環境づくりに向け、2026 年も引き続き尽力してまいります。

参議院議員 友納 りお



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この新しい年を、環境大臣政務官兼内閣府大臣政務官（原子力防災）という新たな職務をいただき迎えています。担務は、サーキュラーエコノミー、環境汚染や化学物質などによる健康被害・熱中症対策、東日本大震災からの復興などです。

昨年は、内閣府大臣政務官として、子ども家庭庁（母子保健を含む）、男女共同参画・女性活躍、共生・共助、孤独・孤立、国際保健、科学技術、宇宙、AI など計 41 の担務に向き合いました。幅広い分野を担当させていただくことで、視野と人脈が大きく広がりました。この政務官の経験は、今後の医療・看護政策の推進に必ず役に立つものと考えています。

看護職の処遇改善、夜勤人員の確保、医療 DX 等を用いた業務負担の軽減、医療安全の推進、ハラスメントなど、現場の声を大切にしながら、引き続きしっかりと取り組みを進めます。「看護の現場の声を国政に!」初心を忘れず、目の前の課題に 1 つ 1 つ丁寧に向き合い、皆さまの期待に応えてまいります。

本年が皆さまにとって健康で幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

越谷市議 横井 聖美



埼玉県看護連盟の皆さまには、日ごろよりご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。

越谷市議会議員 1 期目ですが、おかげさまで令和 8 年度は 4 年目に入ります。

この 3 年間は、私が当初掲げた「子育て、医療、福祉を守ります」というスローガンに沿い活動を続けて参りました。（国）訪問看護における駐車禁止エリアへの駐車、訪問看護における指示書発行の責任の所在（越谷市）带状疱疹ワクチンの公費負担、越谷市立病院の選定療養費、産後ケアの利便性向上と拡充、保育入所の利便性向上など、国や越谷市に提言・要望を実施しました。改善した内容も多くあります。

看護職種ของ皆さまが日々何に困っているかを想像しながら活動しておりますが、皆さまから見て不足があるときには是非お知らせください。少しでも良いものになれるように致します。

引き続き看護連盟の皆さまと共に学び、活動を続けて参ります。今後も変わらぬご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



# 支部活動報告

## 第1支部 支部長 久保田 昌子

11月29日、睡眠健康指導士の新矢昭吾氏をお招きし「睡眠セミナー」を開催しました。セミナーでは、交代勤務によって乱れがちな体内リズムと睡眠の関係について学び、質の良い睡眠を確保するための具体的なアドバイスをわかりやすく解説してくださいました。交代勤務者向けの睡眠改善法（仮眠の取り方、光の活用、就寝前の習慣など）、睡眠のセルフチェックと生活リズムの整え方など、睡眠の大切さを再認識した、役立つ内容だったと声が寄せられました。健康管理の一環として、睡眠の向上につなげていただければと考えます。



## 第2支部 支部長 荒井 清美

今年度第27回参議院選挙があり、第2支部はリーダー研修や、施設内での研修、応援してくれる方に説明することがありました。なぜ応援するのかを言葉にすることで改めて理解することができました。また、ビラ配りなど初めてのことも経験しました。後半は、研修会を開催するにあたり施設連絡員の方々に希望を聞き、マネーセミナーを企画しました。講師は、参加した方のライフプランが大切であること、ライフプランの達成に必要なお金について考えることが、お金に対する漠然とした不安が解消すると教えていただきました。アンケートの結果で多くの方が「考えるきっかけができた」と回答していただきました。

第2支部は、幹事長、青年部の方が交代となりました。活動を通して看護の仕事が、政治とは切っても切り離せないことを知り、刺激を受けているようです。看護師を取り巻く環境が変化するなかで、学びながら活動を進めていきたいと思っています。

## 第3支部 支部長 安良岡 幸子

今年度は、支部長1名、幹事長1名、幹事1名の3名で、かつてない少人数での支部活動の中で、参議院議員選挙関連の活動、施設訪問、研修会を実施しました。

研修会は、新生児集中ケア認定看護師に「医療的ケア児の退院支援～NICUにおける退院支援の実際～」のテーマで、医療的ケア児に関する制度や社会の取り組み、退院支援の実際について講演して頂き、活発な意見交換ができました。

基礎研修の中では、日本看護協会が厚生労働省医政局長宛てに看護職員の処遇改善について要望書を提出していること、2025年度補正予算について説明しました。また友納りお参議員議員がアンフィニの中で、2026年度から全国の自治体で「こども誰でも通園制度」がスタートし、看護師が必要になってくるが、自治体ごとに報酬がバラバラであるとの記事が掲載されており、処遇改善には、議員が関わっていることを説明しました。

## 第4支部 支部幹事 真々田 厚美

今回の参議院選挙では、石田議員の看護政策がちゃんと形になるよう、現場の声をせっせと届けつつ、持続可能な医療体制づくりを全力で応援しました。“医療の未来は現場の声にかかっている!”という気持ちで走りまわった感じです。第4支部では、会員増の取り組みとして施設アタック!を行っています。今年度は30施設に対し対面での訪問・電話でのアプローチなどを行い、連盟の意義や活動をお伝えしました。ウエルカム対応・門前払いの対応など様々ですが、草の根をかき分け、地道な努力が実りにつながることを信じています。また、支部研修は学びの場にとどまらず、現場と直接つながる貴重なチャンスであり会員増への一助でもあり、知識と笑顔をゲットできる場としています。会員のみなさんと力を合わせつつ、看護職のリアルな声を政策に反映させるためにコツコツと…ときどき勢いよく(?)活動していきます。



## 第5支部 支部長 佐藤 孝洋

支部研修『次世代を担う看護師とは?』  
次世代を見据えたグループワークを行いました!

### 次世代を担う看護師とは??

今回の研修では支部内の医療機関へ案内を出し、会員施設以外からもご参加いただきました。講師に内藤美欧さんをお招きし、次世代を担う看護師に必要なスキルについてグループワークを通じて学ぶことができました。本研修のような裾野を広げる活動を継続して参りますので、研修へのご参加をお願いします。





## 第6支部 支部長 佐伯 和枝

今年の初めから選挙中心で活動を行い、研修の段取りが思うようにいなく、計画通りの日程では出来ていませんが3回の研修を予定して11月までに2回の研修が終了しました。昨年度は「在宅医療」を看護師目線であらえた研修を行い、今年は、在宅医から見た「在宅医療」の研修を行いました。在宅医から「病院での高度医療は本当に患者のためなのか。本当に必要な医療とは？」の問いに病院に勤務している立場として考えるよいきっかけとなりました。2回目の研修は趣向を変えて「金融セミナー 資産運用」について研修を行いました。「働くお金」という考え方がとても新鮮でした。



## 第7支部 支部長 内野 照子

今年は第27回参議院議員選挙が行われ、第7支部役員として初めて選挙活動の場に携わらせていただきました。自施設での期日前投票等の働きかけだけでなく、実際に総決起大会やビラ配り等を通して、1票の重みを実感することができ、ひと夏の貴重な経験になりました。石田まさひろ議員の当選に少しでもお役に立てたら幸いです。



また、今年度第7支部では、リハビリテーション技術科運動器認定理学療法士の道下先生を講師にお招きし、研修会を開催しました。普段デスクワークの時間が長い管理職を対象に、座学だけでなく実際に体を動かしながら自己点検してもらい、自分に合った今日からできるストレッチを学ぶことができました。今回は肩こり中心の内容でしたが、腰痛予防・改善についても学びたいという意見も挙がったため、今後検討していく予定です。忙しい時間の合間で息抜きにもなりリフレッシュできた研修となりました。

## 第8支部 支部長 辻村 文子

### ①支部研修

10月18日に「睡眠セミナー」開催いたしました。講師は東洋羽毛株式会社の上級睡眠健康士に依頼いたしました。今年度は昨年好評だった睡眠セミナーの第2弾として具体的な内容にいただきました。参加者は19名で、連盟会員以外の参加も半数おり、日本看護連盟の活動を伝える機会になりました。研修後のアンケートからも眠り過ぎはよくないことや、睡眠中央値を知ることにより、睡眠のリズムを崩さない事などを知り、良かったなどの感想もあり好評でした。今すぐに実行できる内容であり、不規則な勤務の多い看護職にとっては、効果的な質の高い睡眠は重要です。良い睡眠のとり方を具体的に学ぶことができました。



### ②施設訪問

5施設 連盟会員施設を中心に参議院選挙の応援のお礼と、会員増のお願いをしてきました。

## 第9支部 支部長 関 由美子

2025年度研修会は、第1回基礎研修「看護連盟を理解する」、第2回クレーム対応、第3回防犯対策を企画しました。第1回の基礎研修は新人看護師を対象に日本看護連盟PR動画を活用し「日本看護連盟とは」「看護職の処遇改善」について紹介しました。第2回はクレーム対応について開催し、クレームとは何か、クレームの対応方法と注意点、クレームを出さないために日頃から注意することを学びました。研修会には看護師だけでなく、看護補助者、クラス相談員など2施設から29名にご参加いただきました。「はじめが肝心」「最後の印象が残る」と研修の中でお話があり、初期対応の重要性と組織として対応していくことの必要性を実感しました。第3回防犯対策については、2026年1月29日開催予定です。



第1回 基礎研修  
「看護連盟を理解する」

## 第10支部 支部長 清水 京子

今年度1回目の研修会を2025年10月23日に秩父宮記念市民会館にて行いました。秩父郡市内の管理者の集まりである秩父地域看護師会との共催にて開催しました。

医療施設に勤務する方々に参加を呼びかけ、参加者は37名でした。講師に日本赤十字社埼玉県支部健康生活支援講習指導員の角田明美先生を迎え「災害時の備え」についての講義に加え実技も参加者の皆様方に指導をし実際に参加者にも新聞紙で作るスリッパ、風呂敷で作るリュックサック、毛布を使いガウンを作るなどの実技は、参加者の方々に好評でした。私たちの地域では大きな災害もなく、避難所生活など幸いにも経験する事は今のところありませんが、この先も無いとは限りません。参加者の方々からは、「実演してもらいとても良かった。」「家に帰ってもう一度やってみよう、災害時の備えについて改めて考える機会になった。」「身近なものを利用して工夫出来る事を知りとてもためになる研修会だった」と、多くの方にアンケート結果用紙に記入していただきました。





## 第11支部 支部長 竹中 証

行田市・羽生市・加須市・鴻巣市・久喜市・幸手市・北本市・桶川市・白岡市・蓮田市・杉戸町・宮代町・伊奈町からなる支部です。10市3町から成る広い支部です。広い地域であることを考慮し、支部研修会では「入退院支援」の研修会を企画し活動しています。看護師だけでなく、多職種が集まり横のつながりが持てるような研修会を行っています。支部活動や研修会を通して、地域の看護師の皆様と交流し、連盟活動をたくさんの方々に知っていただきたいと考えています。ぜひ、研修会等にご参加頂きたいと思います。

支部では、「ベッドサイドから政治を変える!」をもとに、現場の声を国政に届けるために活動が続けていきたいと考えています。SNSの発達により、オールドメディア・ニューメディアと様々な情報が錯綜しています。何を信じていいのか、どの情報が正しいのか、頭を悩ませる日々です。ニュースやメディアで流れているから正しいのではなく、様々な情報を精査し、客観的に物事を見つめ、考えていく必要があると考えています。引き続き地域で働く看護師の方々に連盟活動のご理解、ご協力を賜りたいと考えています。

## 青年部 望月 正樹

青年部では、6月に第15回ポリナビワークショップinさいたまを開催しました。「あなたの声が現場を変える。」をテーマとして、選挙の仕組みと環境の声が国政に届くまでの流れについて、日本看護連盟の岡山幹事にご講義を頂きました。また、参加者のみなさんにも選挙に興味を持ってもらえるよう、模擬選挙を行いました。石田まさひろ候補が3回目の当選を果たされた7月の参議院選挙では、議員の皆さん、連盟役員のさんと一緒にビラ配りや、総決起集会のお手伝いをさせて頂きました。

今回の選挙は私自身、青年部に所属して初めての経験でした。これまでの活動を通じ、選挙に行くことや自分の一票がとても大切なものだ気付かされました。深夜遅くまで開票が行われましたが、自分が応援している候補が当選した時の嬉しさは、眠気が飛び、言葉に出来ないほどのものでした。今回の経験をもとに、これからも青年部として、出来ることに精一杯尽力していきたいと思っています。



## OB支部 黒澤 美佐子

OB 支部はそれぞれの支部と協力・連携を取りながら、参議院選挙の応援や会員をどうしたら増加できるのかを考えて活動を行っています。

地域で活動している方や看護職を続けている方もあり、経験豊かな方々の声を皆さんに届けていきたいと研修も年齢層を広げた内容で、睡眠療法士を招き「睡眠セミナー」を開催し、参加者のアンケート結果でも好評でした。

今後も若い世代へ繋がる活動をしていきたいと考えています。

## 埼玉県議への要望書

自民党看護振興懇話会 幹事長 白土幸仁

埼玉県看護連盟の会員の皆様には、日頃より県内における医療・福祉分野において、ご活躍を頂いております事を深く感謝を申し上げます。

また、看護協会・看護連盟の皆様には埼玉県ナースセンターを通じての看護職員の復職・定着支援や、各種研修支援において、埼玉県の医療を支える重要な業務として、大きなご貢献を頂いております事を、併せて感謝を申し上げます。

さて、昨今、世の中が看護に求めている現状は多様化している中で、看護師の処遇改善、人材の確保は喫緊の課題となっております。また同時に、働き方改革に伴うワークライフバランスの実現に向けての努力も欠かす事は出来ません。そのような中、今後とも看護協会・連盟の皆様と、自民党看護振興懇話会との力強い連携が、様々な課題を乗り越える力となると考えます。引き続き、石田まさひろ参議院議員と力を合わせ、諸課題に取り組んで参りますので、今後とも看護協会・連盟の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



### 要 望 事 項

1. 令和7年度補正予算において、物価高騰・賃金上昇に苦しむ医療機関等の経営支援策を講じられたい
2. 令和8年度診療報酬改定における、十分な改定率を確保されたい



## 関東甲信越ブロック別政策セミナー

吉永 智子

今年度は、栃木県宇都宮市で開催され、衆議院議員あべ俊子氏のビデオメッセージで始まりました。

参議院議員石田まさひろ氏の講演は国会業務が入り急遽ビデオ講演となりました。

「人口減少社会に求められる看護政策」をテーマに行われました。看護職の処遇改善、看護学校の定員割れや閉校などの内容でした。2040年へ、人口が減少し社会の方向が逆転する中で「量を守り質を追求する」ことへのご講演がありました。

2つ目のテーマは日本看護連盟常任理事福田淑江氏による「会員確保戦略、組織の存在意義（パーパス）の再定義」の講演でした。会員確保戦略として「パーパス（存在意義）の策定・波及について述べられました。パーパスとは、「揺らぐことのない社会的な存在意義」を指し、「組織や個人が、なぜ、社会に存在しているのか」という根源的な存在意義や存在価値のことです。理念との違いは何かなど質問もでていました。

3つ目は、前日本看護協会監事・前栃木県看護協会会長 渡邊力ヨ子氏による「2040年に向けて看護職の地域活動を考える」として地域で行っている「サロンみんなの保健室」の活動内容のご講演があり、意欲的に活動されているお話で皆さん元気をもらったようです。

最後に参議院議員の友納りお氏の挨拶で終わりとなりました。

二日目は日本看護協会常任理事 井本寛子氏「2040年に向けた看護政策の方向性～看護の将来ビジョン2040と日本看護協会の重点政策・事業～」についてご講演があり、策定経緯や、今一度、社会の変化に応じて人々に看護のめづりを十分に発揮していくために、看護職は何をめざし、何に重きを置いて進んでいくべきか、日本看護協会がめざすその方向性を示すビジョンについての内容でした。

最後は「日本看護連盟パーパスの理解と周知」をテーマに看護管理者・教育機関・連盟役員・青年部の多様な分野での看護職でグループワークを行い、活発な意見交換がなされました。

看護連盟会員の使命、存在意義について学びとなった機会でした。

## リーダー研修Ⅱ

上田 幹子

埼玉県看護連盟のリーダー研修Ⅱは、「看護管理者に必要な基礎知識」をテーマに、診療報酬に関する解釈などを中心に、株式会社ウォームハーツの代表取締役である長面川さより先生が講演された。

とりわけ看護管理者は、自施設での実践に責任を持ち、正当な診療報酬を適正に受けて、安定経営に寄与しなければならない。そのためには、「きちんと実践されているのに」申請をしていなかったり、今一步の実践の引き上げが十分でなく申請には至らなかったりすることは、あってはいけない。現場がきちんとやっているのに、もう少し整えば適正なのに。「取り漏れ」は、働く人のモチベーションだだ下がり、頑張りが報われない。

そんなことを回避し、頑張りが報われて、お給料にも反映され、明るく楽しくチャレンジングに看護に取り組める、そんな明るい未来のために看護管理者の行うことのひとつは、診療報酬について適切な知識を得ることである。

看護の代表である石田まさひろ議員、友納りお議員も頑張っている。私たちも最前線の現場で正々堂々、誇りをもって仕事をしていきたいと感じた。皆様はいかがだろうか。

## 県別会議へ参加しての感想

佐藤 孝洋

私は30代の1人の看護職として、看護職の未来に強い危機感を抱いている。

県別会議とは日本看護連盟の役員、埼玉県看護連盟の県役員と支部長、支部幹事長によって行われる年に1度の会議であり、先に行われた参議院議員選挙の振り返りと次期参議院議員選挙に向けての体制作りが主な議題として上がった。

私は約10年前から青年部に属しており、3度の選挙を経験している。

前々回の参議院議員選挙は189,893票で、今回の参議院議員選挙は152,649票。

前々回と今回の得票数を比較すると約4万票以上減少している。

看護協会員が減っているせい？看護連盟会員が減っているせい？

そもそも看護職自体が減っているせい？

就業看護職は120万人以上、潜在看護職は70万人以上いる。

私たちはこれから仲間内だけではなく、社会保障全体を考え行動していかなければならず、その方針をわかりやすく示した『パーパス』をもとに、理解の裾野を広げていく必要があると感じた会議だった。

## 12月11日 国会議事堂見学に参加して

大賀 公子

今回初めて国会議事堂を見学させていただきました。建物の外観、内観ともに、昭和11年からの趣があり壁や天井の作りが時代を感じさせられるものでした。当日は天気も良く、中央広間の四季を表現したステンドグラスは、天井も高く日差しを加減で素敵な空間でした。

当日は衆議院予算決議もあり、議員の方々も多忙と思われる中、息を切らしながらご挨拶に来ていただきました。看護職議員の方々からは、日本全体の格差社会の問題、看護師の人数減少や、今回の予算案に関係する医療職を守るための処遇改善予算、業務負担軽減するためのDX化、高齢社会に伴う通院の課題を解決するための取り組みなど様々な興味深いお話を頂きました。

参議院議長の間口昌一議員のご厚意により参議院議長公邸の見学と説明の場を頂きました。偶然の機会に石田まさひろさんもお見えになり、お二人とも気さくに撮影に応じてくださり推し活のような光景と公邸内の景観に楽しい思い出が出来ました。ありがとうございました。



## お知らせ

日 時	内 容	場 所
2026年3月6日(金)	診療報酬改定のポイント 講 師：長面川さより氏	埼玉県看護協会 研修センター
2026年6月13日(土)	リーダー研修Ⅰ 施設連絡員対象	埼玉県看護協会 研修センター（予定）
2026年6月18日(木)	埼玉県看護連盟総会	市民会館おおみや レイボック小ホール 会場変更となりました

## 連盟会員 入会受付中！

年会費	日本看護連盟会費	5,000円
	埼玉県看護連盟会費	3,000円
	計	8,000円

賛助会員：会費1,000円 学生会員：無料



皆様のご入会をお待ちしております

## 事務局より

## 「会員情報変更届」をお忘れなく

姓の変更・転居・施設異動など、登録情報に変更があった場合は「会員情報変更届」の届出をお願いいたします。連盟ホームページより届出できます。

## 会員数……2,942人

保健師	57人
助産師	108人
看護師	2,757人
准看護師	20人
	2025.11.現在

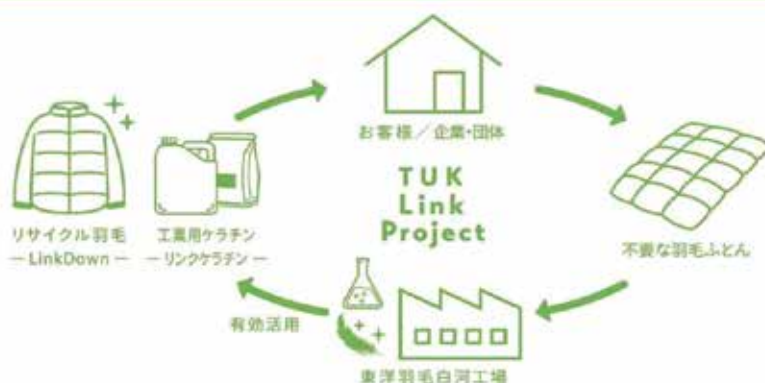
## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。インフルエンザが大変流行っていますが、皆様はいかがおすごしですか。看護の将来ビジョン2040に、看護職が活躍する基盤となるものに、「看護職一人ひとりのウェルビーイングが重要となる」とでていました。心身ともに充実して働ける環境にあることが、大前提です。そのサポートとして今年度も会員の皆様の役に立つ情報や研修をご案内していきます。どうぞよろしくお願い致します。

吉永智子

# 不要な羽毛ふとんはありませんか？

## 東洋羽毛が無料でお引取りします



●お近くの営業所または二次元コードからお申込みください。

●引取り可能なふとんの種類は羽毛ふとん(ダウン率50%以上)です。ただし、東洋羽毛の羽根ふとん、羽根まくら(ダウン率50%未満)は引取り可能です。羽毛以外のふとん類や、リサイクル羽毛として活用できない物は引取りできません。



引取り詳細



東洋羽毛北関東販売株式会社  
〒362-0017 埼玉県上尾市ニツ宮963-3

埼玉営業所  
TEL 0120-223-062